

取扱説明書

エンジン式芝刈機

HG-KCL17 手押し式

HG-KCL17S 自走式



ご使用の前に	はじめに	2
	安全にお使いいただくために	3
	主要諸元・安全ラベル	5
	各部の名称	6
	組立て	7
使い方	運転前の点検	9
	運転操作の仕方	14
	芝刈作業の操作要領	16
点検の仕方	点検・整備の仕方	18
	長期間使用しないとき	23
	故障と思ったら	24
	お客様ご相談窓口	27

はじめに

このたびは芝刈機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



危険

誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。



警告

誤った取扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。



注意

誤った取扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。



注意

に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

製品を長くご愛顧いただくために



取扱説明書に従った正しい取扱いや定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。



安全にお使いいただくために

芝刈り機に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。・バーナイフは確実に取り付けてください。・運転中は、排気ガスに十分注意してください。・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。・燃料キャップは確実に締めてください。・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。・始動前点検を実施してください。・製品を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。・移動するときは、バーナイフの回転を止めてください。



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・定期点検整備を行ってください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。



安全にお使いいただくために

芝刈り機の作業に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。・Vベルトなど回転部分に顔や手足を近づけないでください。・ご使用時は、子ども、動物、ペットを近づけないようご注意ください。・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。・土や砂利道の上でバーナイフを回転させないでください。・集草袋をつけないで作業しないでください。・エンジン回転中は、刈り取り高さ調節はしないでください。・ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。・走るような操作はしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。・事前に、作業範囲内の石、木片などの異物を取り除いてください。・作業前に集草袋に穴や擦り切れがないか点検してください。・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、バーナイフに異常がないか調べてください。 異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。・ぬれた草を刈らないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。・装置を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

安全ラベル

ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。

物が飛び出します人や動物を近づけないでください。

エンジン停止の案内

修理の時は、点火プラグキャップを外してください。

排気ガスに注意、換気の悪い場所でエンジンをかけないでください。

騒音に注意してください。



エンジンやマフラーなどが熱くなっています。

回転しているバーナイフに触れると死傷することがあります。

高温部に触れないでください。



主要諸元

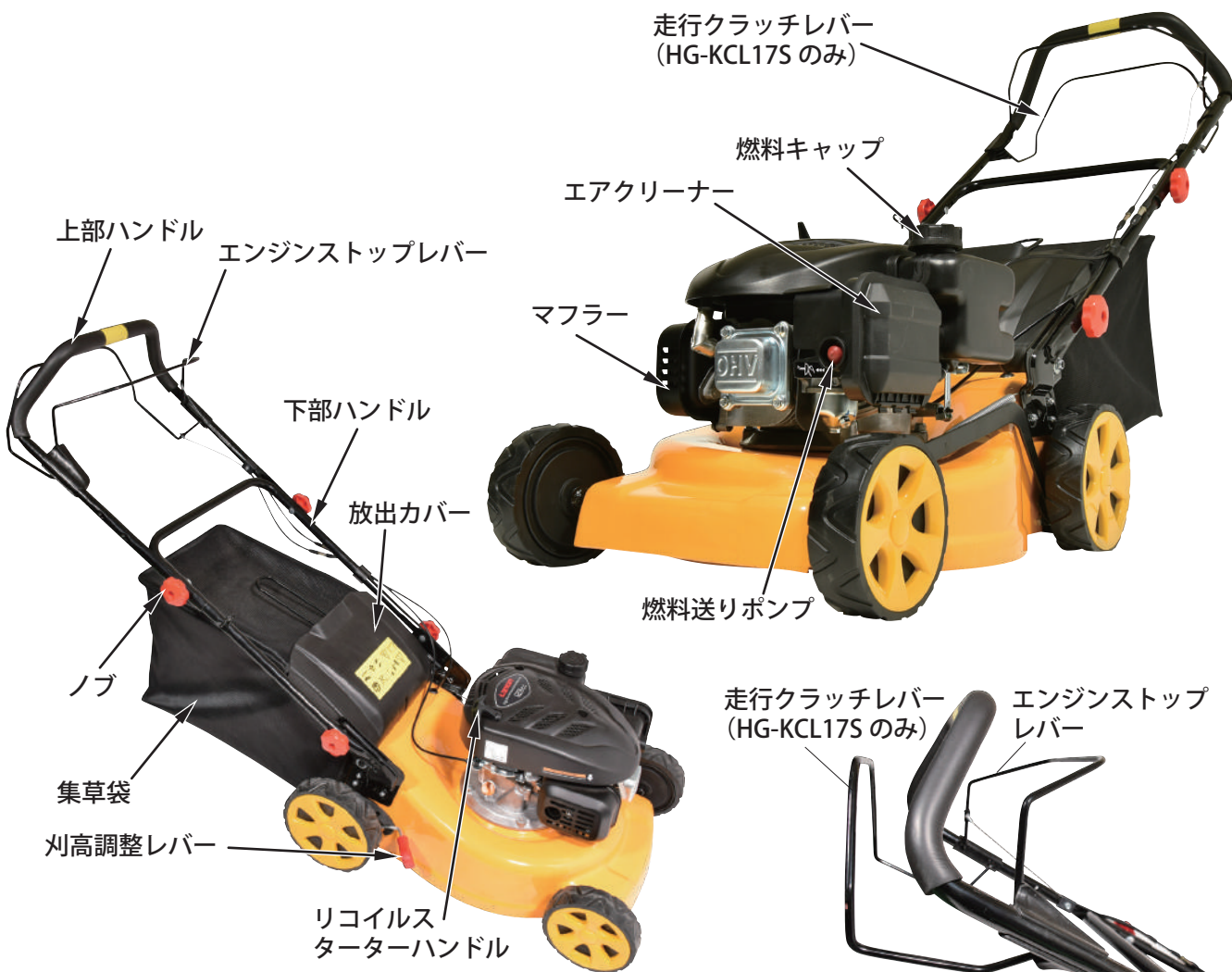
モデル名	HG-KCL17	HG-KCL17S
操作	手押し	自走
総排気量	LONCIN 123cc	
型式	空冷4サイクル	
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	0.9L	
オイルタンク容量	0.55L	
刈高	5段階調整 18-65mm	
刈幅	430mm	
排出方向	収納	
質量	25kg	28kg
サイズ	475mm × 1350mm × 940mm	

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

各部の名称








組立て

●梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

⚠ 警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を交換するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 下部ハンドル</p> 	<p>C. 集草袋</p> 	<p>D. ワイヤクリップ</p>  <p>E. ノブ (※)</p> 
--	--	--	--

※工場出荷時に本体側に仮り取付けされている場合があります。

組立て

⚠ 注意

- ・取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。

●ハンドルの取付け

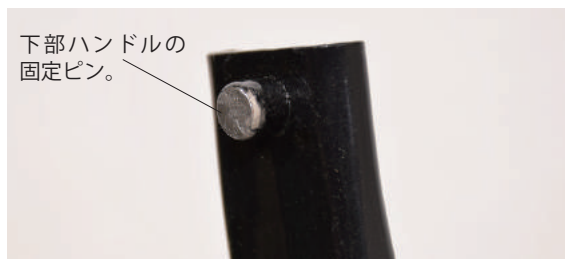
■取付け手順

- 1** 本体のハンドル角度調整穴に、下部ハンドルの固定ピンをはめます。

ハンドル角度調整穴は2ヶ所。ハンドルの角度を変えられます。



下部ハンドルの固定ピン。



- 2** 本体のハンドル取付穴に、下部ハンドル取付穴を合わせ、ノブボルトを内側から差込みます。



- 3** ノブナットで左右均等に締付けます。



- 4** 下部ハンドルの上部ハンドル取付穴にノブボルトを内側から差込みます。



組立て

- 5** 上部ハンドルの取付穴に、ノブボルトを差込みます。



- 6** ノブナットで左右均等に締付けます。



●ワイヤクリップの取付け

- 1** 2本のワイヤをワイヤクリップで固定します。



●集草袋の取付け

- 1** 本機の放出カバーを開けます。



- 2** 集草袋のフレームにある爪を放出カバーシャフトにひっかけます。



運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



指示

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のない所に保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内にホコリや水が入らないように注意してください。

注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼付けを起こします。

●燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン（レギュラーガソリン）
------	-----------------------

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。

■点検手順

- 1 燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。



- 2 少ないときは上限の位置まで補給します。

- 3 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

●エンジンオイルの点検

エンジンオイルの量、よごれを確認します。

■点検手順

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外します。



- 2 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)にあるか点検します。



運転前の点検

- 3** オイル量が少ないときは、新しいオイルを、中央位置まで補給します。

オイルレベルゲージ



推奨オイル	SAE 10W-30
オイル容量	0.55L

- 4** オイル給油キャップを締めます。

●エアクリナーの点検

エアクリナーの汚れを点検します。

■点検手順

- 1** エアクリナーカバーの上部爪2ヶ所を押すとカバーが外れます。



- 2** エアフィルタ（スポンジ）の汚れがひどい場合は、水洗いします。洗浄後はしっかり乾かします。



- 3** 取外しと反対の手順で取付けます。

●集草袋の点検

放出物が集草袋の外に飛び出さないか点検します。

■点検手順

- 1** 集草袋を空にします。
- 2** 破れ、ほころびなどが無いことを確認します。



- 3** 集草袋が確実にセットされていることを確認します。

運転前の点検

●バーナイフの点検

バーナイフに、割れ、曲がり、磨耗などの異常、緩みがないか確認します。そのまま使用しますと、重大な事故や故障の原因になります。

■バーナイフの点検手順

1 燃料タンクから燃料を抜きます。

2 本機を傾けます。



3 バーナイフを目視し、割れ、曲がり、磨耗など異常があれば新品と交換します。



■バーナイフ締付けボルトの点検

■使用工具：14mmスパナやめがねレンチ

1 バーナイフが回らないように固定して、バーナイフ取付けボルトに緩みがないか確認します。



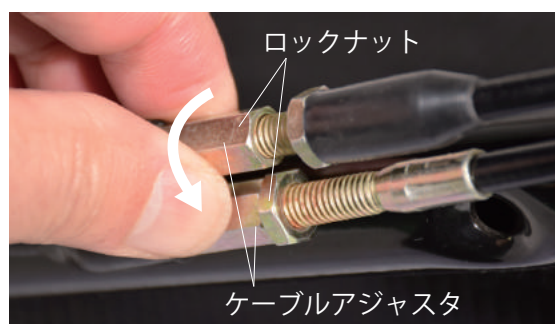
●ワイヤの確認

工場出荷時、エンジンストップワイヤと走行ワイヤ（HG-KCL17Sのみ）は、取付済みですが、輸送時に外れることがあります。その場合は、下記の要領でワイヤを取付け、張りを調整をします。

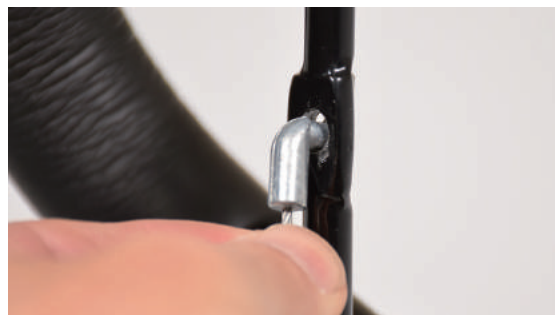
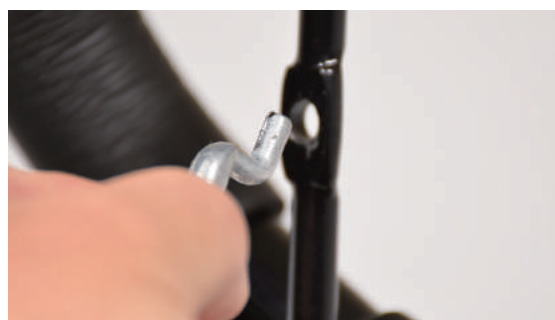
また、取付済みでもワイヤの張り調整は必要になります。

■ワイヤの取付け手順

1 ロックナットを緩め、ケーブルアジャスタを反時計回りに回しワイヤを緩めます。



2 ワイヤの先端をレバーの穴に通します。



運転前の点検

●エンジンストップワイヤの張り調整

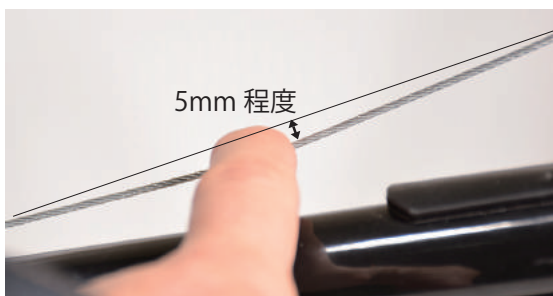
ワイヤの張り調整をします。この調整を行わないと、エンジンが切れない場合があります。

■調整手順

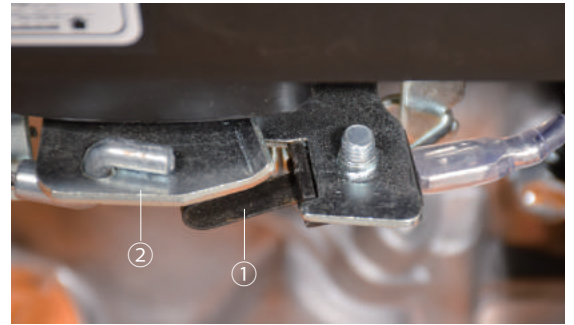
- 1 ロックナットを緩め、ケーブルアジャスタを時計回りに回すことでワイヤが張られます。



- 2 ワイヤの張り具合は指で押した時に 5mm 程度下がる位が適しています。張りすぎると切れやすくなります。

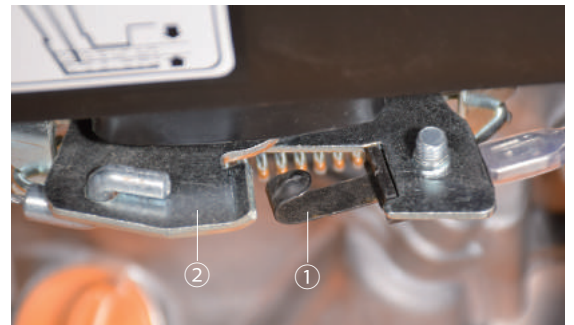


- 3 エンジンストップレバーを握り、①が②から離れているか確認します。離れていない時は少しずつ張りを調整します。



①と②が接触している状態

エンジンストップレバーを握った時にこの状態だとエンジンはかかりません。



①と②が離れている状態

エンジンストップレバーを握った時にこの状態だとエンジンがかかります。この状態になるようワイヤの張りを調整します。

- 4 調整終了後は、ロックナットを締め、ケーブルアジャスタを固定します。

●エンジンストップレバーの点検

エンジンストップレバーの動作を確認します。

■確認手順

- 1 エンジンストップレバーを握ったり、放したりの動作を数回繰返し、レバー操作に合わせて、ワイヤが動作することを確認します。



- 2 レバーを放した際、レバーが確実に戻ることを確認します。

運転前の点検

●走行ワイヤの張り調整 (HG-KCL17S)

ワイヤの張り調整をします。この調整を行わないと、走行しない場合があります。

■調整手順

- 1 ロックナットを緩め、ケーブルアジャスタを時計回りに回すことでワイヤが張られていきます。



- 2 ワイヤの張り具合は指で押した時に 5mm 程度下がる位が適しています。張りすぎると切れやすくなります。



- 3 上記の調整ができれば、P.14 の要領でエンジンをかけ、走行のテストを行います。走行クラッチが滑っているようであれば、ケーブルアジャスタを時計回りに少し回し、走行状態を確認します。走行クラッチが滑らなくなるまで、調整とテストを繰り返します。走行クラッチが切れない場合は、回しすぎです。反時計回りに回して調整します。

- 1 調整終了後は、ロックナットを締め、ケーブルアジャスタを固定します。



●走行クラッチレバーの点検 (HG-KCL17S)

走行レバーの動作を確認します。

■確認手順

- 1 走行クラッチレバーを握ったり、放したりの動作を数回繰返し、レバー操作に合わせて、ワイヤが動作することを確認します。





- 2 レバーを放した際、レバーが確実に戻ることを確認します。

●各部の締付け

- 1 ボルト・ナットに緩みがないことを確認します。

運転操作の仕方

警告

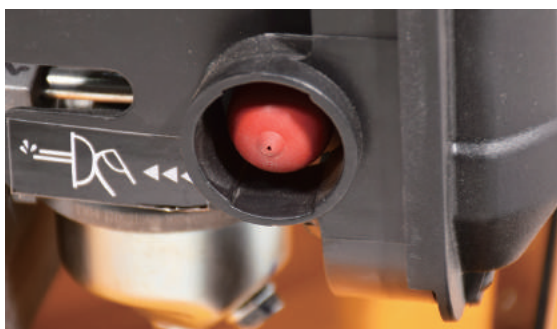
 禁止	<ul style="list-style-type: none">・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・エンジン始動時、ハンドルをしっかり握ってエンジンを始動してください。・運転中は必ず両手でしっかりハンドルを握ってください。・平坦な場所で作業を行ってください。・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

<ul style="list-style-type: none">・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

●エンジンのかけ方

- 1** 燃料送りポンプを2~3回押し燃料を引出します。押しすぎるとエンジンがかかりにくくなります。
※この作業は、燃料が完全に空の状態から燃料を入れた場合に限り行います。



- 2** ハンドルにあるエンジンストップレバーを握ります。



- 3** リコイルスターターを引きます。



リコイルスターターは、下ハンドルのフックに引っかけて操作することもできます。エンジンストップレバーを握りながらの操作ができ、便利です。

- 4** エンジンを始動後、暖気運転を行い、運転状況を確認します。
エンジンがかかるとバーナイフも回転します。

運転操作の仕方

●エンジンの止め方

- 1 ハンドルにあるエンジンストップレバーを放します。



- 2 エンジンが停止し、バーナイフも停止します。

●刈高の調節

刈高は、刈高調節レバーで高さの調整が可能です。

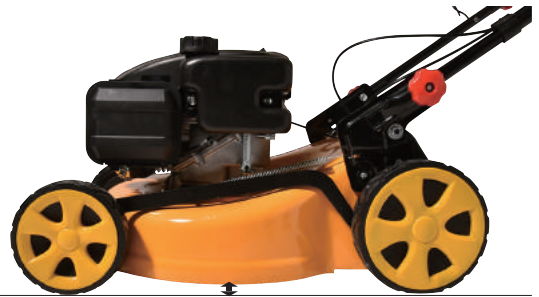
■調整方法

- 1 刈高調節レバーをタイヤ側に引き、適切な調節溝に入れます。



- 2 芝地の条件により、刈取り高さは多少変化する場合があります。

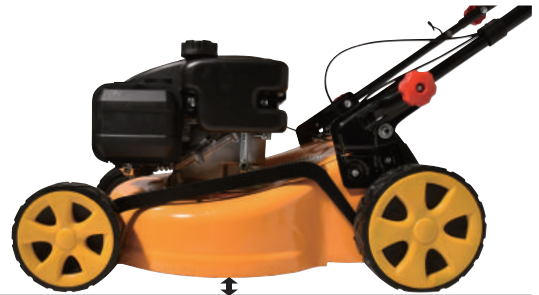
1段



1.8cm

※実際の刈刃は、上記より1.0~1.3cm高い位置にあります。

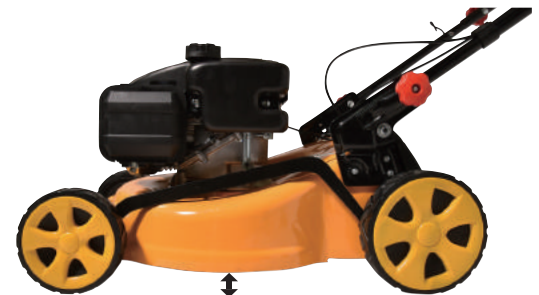
2段



2.5cm

※実際の刈刃は、上記より1.0~1.3cm高い位置にあります。

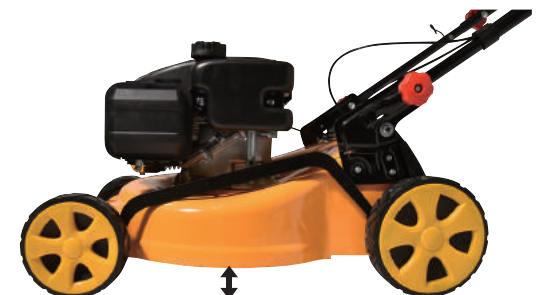
3段



3.5cm

※実際の刈刃は、上記より1.0~1.3cm高い位置にあります。

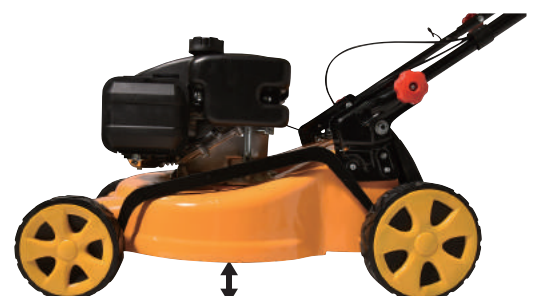
4段



5.0cm

※実際の刈刃は、上記より1.0~1.3cm高い位置にあります。

5段



6.5cm

※実際の刈刃は、上記より1.0~1.3cm高い位置にあります。

芝刈作業の操作要領

警告

- ・砂利、ガラス、ガラス屑、鉄釘、ワイヤー、がれきなどを、芝刈機によって拾い上げたり投げたりすることは、深刻な人的被害をもたらす原因となります。芝刈機の操作をする前には、このようなすべての異物を作業場所から取除く必要があります。
- ・この機械の作業中に、異物によって異常が発生した場合、エンジンを停止させてください。異常を取除きチェックをします。もしどこかの部品が損傷していたなら、機械を再稼働させる前に修理か交換をしてください。
- ・作業する場所からは子供やペット等は遠ざけてください。
- ・機械の作動音により、人が近付いてきても気付かないことがあります。
- ・機械を強く押さないでください。
- ・機械には余分な負荷を加えないでください。

●芝刈り作業

自走で芝を刈る方法と手押しで刈り取る方法があります。

■自走による刈り取り作業 (HG-KCL17S)

- 1 エンジンを始動します。(P.14参照)
- 2 走行クラッチレバーとエンジンストップレバーを握ると、自走を開始し、芝刈りを行います。



- 3 走行クラッチレバーとエンジンストップレバーを放すと、走行は止まりバーナイフの回転も止まります。



■手押しによる刈り取り作業 (HG-KCL17)

- 1 エンジンを始動します。(P.14参照)
- 2 エンジンストップレバーを握りながら手でハンドルを押して、芝刈りを行います。



※自走式でも、走行クラッチレバーを握らず、ハンドルを手で押して芝刈りを行うことができます。

●上手な芝刈りの仕方

■徐々に刈高を下げる

日をおいて徐々に刈高を低くすることで、芝生を傷めずにきれいに刈れます。また、芝刈機にも負荷をかけません。その際、毎回刈る方向を変えて重ね刈りすることできれいになります。

■刈るスピードはゆっくり (HG-KCL17)

早すぎるときれいに刈れません。目安として、1mを3~4秒くらいで進むときれいに刈れます。

芝刈作業の操作要領

●斜面の芝刈り

■傾斜地での芝刈り作業は、上下方向ではなく、横方向に行います。

■横方向で作業する場合でも、本機が約10度以上傾く場合は危険ですので、使用しないでください。

■傾斜地の方向が変わった場合は、特に注意を払ってください。

●起伏の多いところでの芝刈り

■起伏の多いところでの芝刈り作業は、ハンドルをしっかり握り、足元に十分注意して作業を行ってください。

●刈った芝の捨て方

芝が集草袋に詰まってくると、きれいに刈れません。集草袋いっぱいになる前に捨ててください。



注意

- ・ダクト（排出口）や本体内部に芝が詰まった時は、必ずエンジンを切り、バーナイフの回転が止まっていることを確認してから取除いてください。

●運搬、輸送について

本機を運搬するときは、次のことに注意してください。



警告



指示

- ・運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行ってください。
- ・運搬する場合は、燃料もれによる火災を防止するため、燃料タンク、キャブレターからガソリンを抜取ってください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。



注意



指示

- ・運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- ・本体を水平になるように保持してください。

点検・整備の仕方

警告

- 安全を確保し作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

お買い求めいただきました製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検を実施してください。

点検項目	実施時期
燃料の点検	作業前
エンジンオイルの点検	作業前
エアクリーナーの点検	作業前
エンジンオイルの交換	初回20時間 以降100時間毎
点火プラグの点検・清掃	点検50時間 交換250時間毎
各部のネジの緩み点検	作業前
燃料系の点検・メンテナンス	長期保存の前

●エンジンオイルの交換

■交換の仕方

1 本機を水平な場所で水平な状態にします。

2 燃料タンクから燃料を抜きます。



3 オイル受けを用意します。
または、オイルを吸い出すオイルチェンジャーを用意します。

4 オイル給油キャップを開け、オイル給油キャップ側を下にし本機を傾け、オイルを受け容器等に流します。その際、漏斗などがあると便利です。紙などでの代用もできます。また、作業は2人で行うことをおすすめします。



台などに本機を乗せて傾けるとやりやすくなります。

5 本機を水平に戻します。

6 市販のオイルチェンジャーをご使用の場合は、オイル給油口から吸い込みます。(詳細はオイルチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。)



点検・整備の仕方

- 7** 新しいエンジンオイルを、市販のオイルジョッキを使用して0.3L入れます。その後、オイルゲージで計りながらゲージの中央まで入れていきます。



オイルレベルゲージ



推奨オイル	SAE 10W-30
オイル容量	0.55L

- 8** エンジンオイル注入後、オイル給油キャップを締めます。

●燃料系の点検・メンテナンス

ガソリンを受ける容器を用意し、燃料タンクのガソリン、キャブレターのガソリンを抜きます。

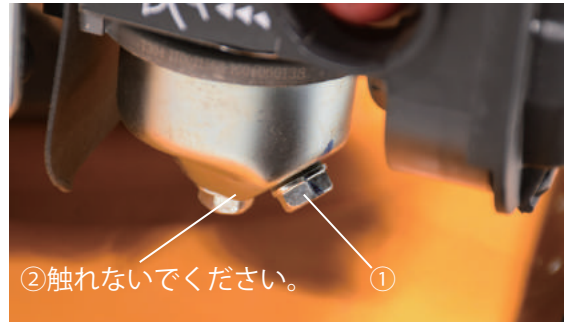
■使用工具
10mmスパナ

■点検の仕方

- 1** 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を抜きます。



- 2** キャブレターに斜めについているボルト①を緩めて、ガソリンを容器に受けます。この方法でキャブレターの燃料を抜くことができます。
注) キャブレターの下側に付いている②のボルトは絶対に緩めないでください。



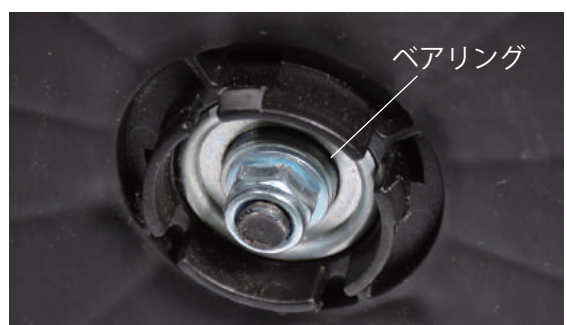
- 3** 緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

●ホイールの点検

- 1** ホイールキャップを引っ張り外します。



- 2** シャフトのベアリングにグリス等を塗布します。



点検・整備の仕方

●バーナイフの交換

バーナイフの交換を行います。

■使用工具

14mmスパナやめがねレンチ

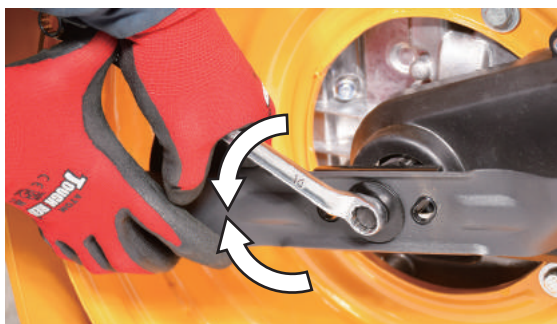
■交換手順

1 燃料タンクから燃料を抜きます。

2 本機を傾けます。

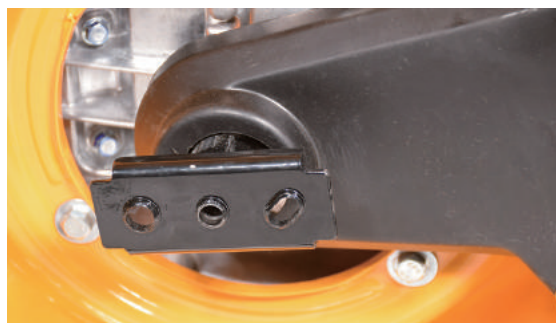


3 めがねレンチをボルトにはめ、レンチとバーナイフのお互いを引寄せます。ハサミを使う要領です。



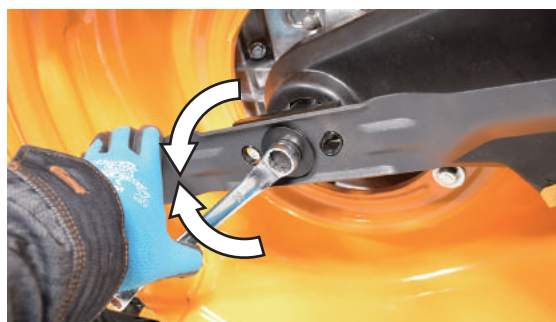
4 上記を数回繰返しボルトを緩めます。

5 ある程度緩んだら、バーナイフを固定しながらめがねレンチを回せば外れます。



6 新しいバーナイフをブレード台座に合わせ、ボルトを取付けます。

7 めがねレンチをボルトにはめ、レンチとバーナイフのお互いを引寄せます。ハサミを使う要領でしっかり締付けます。



点検整備の仕方

●ベルトの張り調整・交換

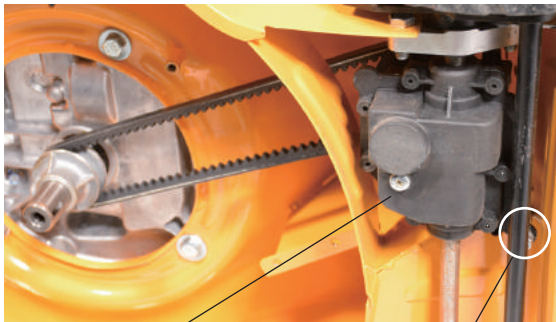
P.20のバーナイフの交換の要領でバーナイフを取外します。

■使用工具

プラスドライバー、10mmスパナ

■調整手順

- 1 3カ所のベルトカバー取付けネジをプラスドライバーで外します。



ギヤボックス

ベルトの張り調整ボルト

- 2 ベルトの張り調整ボルトのロックナットをスパナで緩めます。
調整ボルトを締付けることで、ベルトが張られていきます。



ロックナット

調整ボルト

※ロックナット、調整ボルトは通常のスパナでは入りにくい所にありますので、先端が曲がっているスパナをご用意ください。

- 3 ベルトの交換は、調整ボルトを緩めることでベルトが緩み外すことができます。

- 4 ベルトの交換・張り調整が完了しましたら、ロックナットを締付けます。

- 5 取外しと反対の手順でベルトカバー取付けます。

- 6 P.20のバーナイフの交換の要領でバーナイフを取付けます。

●エアクリナーの清掃

エアクリナーのフィルタを清掃します。

■清掃手順

- 1 エアクリナーカバーの上部爪2ヶ所を押すとカバーが外れます。

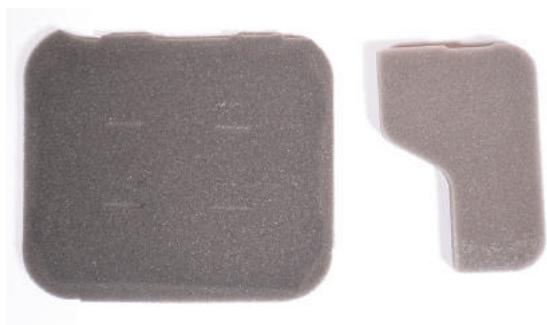


点検・整備の仕方

- 2 エアフィルタ（スポンジ）は、2つありますので、2つとも取出します。



- 3 エアフィルタ（スポンジ）の汚れがひどい場合は、水洗いします。洗浄後はしっかり乾かします。



- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

●点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■使用工具

プラグレンチ、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1 点火プラグキャップを取外します。



- 2 点火プラグをプラグレンチで取外します。



- 3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



隙間は
0.7mm～0.8mmが
適切です。



適応 点火プラグ	F7RTC
	BPR7ES(NGK)
	W22EPR-U(DENSO)

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

長期間使用しないとき

●装置を1週間以上使用しないとき

- 1 保管するときは、平坦で堅い地面に水平に置いてください。
- 3 P.19の「点検・整備の仕方」に沿って燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
- 4 リコイルスターターをゆっくり引き、重くなったところで止めます。
- 5 バーナイフ周りを清掃します。
- 6 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 7 防錆、給油を行います。
- 8 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

警告

- ・安全を確保し作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良	交換
	②スパーク・プラグ不良	交換 (P.25 参照)
	③スパーク・プラグ・キャップ接続不良	調整 (P.25 参照)
	④イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない	燃料を入れる
	②燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
	①オイルの入れすぎ	オイル交換
	②オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換

●エンジンはかかるが、回転があがらない

	①エアフィルタの汚れ	清掃又は交換
--	------------	--------

●過度の振動

本体が振動する	①バーナイフのバランスがとれていない	新品のバーナイフに交換
	②バーナイフの割れ・曲がり・摩耗など	新品のバーナイフに交換
	③バーナイフ取付けボルトが緩んでいる	ボルトを確実に締めなおす

●うまく刈取りができない

芝生が放出されない	①バーナイフの刃先が極端に摩耗している	新品のバーナイフに交換
芝生が刈れない	①刈取り高さが合っていない	適切な高さにする
	②集草袋が目詰まり、いっぱいになっている	清掃
	③芝が濡れている	芝生が乾いている時に作業

故障と思ったら

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③エンジンストップレバーを握ります。（レバーをロープ等で固定するか、2人で行ってください。）

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ 検索

TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名：「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00～13:00はお電話は繋がりません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付ておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間：10:00～17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日：日曜、祝日、第2・4土曜日

